



2019・4・11

第 335 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 安倍9条改憲阻止へ多面的に世論喚起を

### 審査会開会めぐり攻防つづく

衆院憲法審査会は3日、3月28日について幹事懇談会開催を見送りました。前回同様、与野党合意のないまま森英介会長が職権で開催を決定したことに立憲民主党などの野党が反発、欠席したためです。

かわっておこなわれた意見交換会では公明や維新がいらだちを示し、「そろそろ（開催を決断する）潮時が来ているのではないか」「我々だけで国民投票法改正案を審議、採決すべきだ」という意見もだされました。新藤義孝与党筆頭幹事も「話し合いの場すらもたないのは誠に残念だ」とコメントしています。この日も非公式な与党中心の打ち合わせにもかかわらず、会談をメディアに公開、開催めざし環境づくりに必死です。

### メディアしめつけ通達に抗議

【商社九条の会など5団体】 安倍内閣は憲法9条改憲の動きを進める中、昨年末、取材・報道の自由と、知る権利の侵害という重大な違憲行為を行っています。

これは昨年12月26日の官房長官記者会見で、東京新聞・望月衣塑子記者が「辺野

古米軍新基地建設に、赤土混じりの土砂が投入されていないか」と質問したことに端を発しています。官邸は質問を「事実誤認」と断定、今後は「明らかな事実」を基にした質問しか受け付けないとする「官邸報道室長名・文書」が12月28日付で内閣記者会に出されたのです。政権に都合の悪い取材・報道を規制すると同時にメディアの委縮を狙い、国民の知る権利を侵害する違憲行為です。私たちに代わって政権に質問、報道するのがメディアの役割。「記者の質問は制限することができない」と記者会が表明したのは当然です。

商社九条の会・東京は看過できない重大事態と判断、2月末開催の世話人会議で、「できれば他団体と共同で抗議、要請行動をすること」を決定。早速、友好団体に呼び掛けたところ、銀行九条の会。損保九条の会、出版OB九条の会、海運九条の会の快諾が得られました。

3月10日に5団体連名で、「内閣記者会」に①官邸に「文書」撤回を要望すること②官邸に抗議することを求める要望書を、「官邸報道室長」には抗議書を送付しました。

3月12日には共同記者会見を開催、すべての国民の問題として「全国に抗議の声が広がることを望んでいる」と訴えました。

（「商社9条の会東京「会報」No44）

## 「安倍忖度報道やめろ」と行動

**【広島県／総行動実行委員会】** 「NHKは、安倍忖度の政治報道を止めろ！」一放送記念日の3月22日、東京をはじめ名古屋、大阪、福岡、長崎など全国でNHKの「安倍チャンネル化」に抗議する行動と上田会長あて申入れ行動が行われた。

広島では、先月21日、「政府から独立したNHKをめざす広島の会」も参加する広島地域総行動実行委員会の一行10人がNHK広島局を訪れ、政府広報化した政治報道を排して真に公共放送の役割を果たすよう求める抗議・要請行動をした。

通常国会では厚労省の統計不正問題が糾弾されているが、公文書改ざんや廃棄が問題になった森友学園への国有地不正譲渡問題や加計学園獣医学部新設問題など安倍首相絡みの国政私物化に関わる2つの学園疑惑はNHKの報道からは姿を消している。

森友疑惑報道担当の大阪局の記者を退職に追い込んだ不当人事をはじめ、首相の新春討論「サング移植済み」発言などNHKの最近の政治報道の変質は、内閣記者会への政権介入でも明らかなように、安倍政権の露骨な言論・情報規制と一体で進んでいる。（「広島マスコミ九条の会」第80号）

## 憲法団体共同で1100人余の集会

**【東京・昭島市／九条の会・あきしま等】**

1月12日（土）の午後、昭島市民会館に

は、開場前から長蛇の列ができ、1139席の会場は参加者で超満員となりました。

松元ヒロさんの一人芝居は、ウエットに富み、安倍風刺、自民党風刺で権力をばっさり、会場から「そうだ！との共感と笑いが止まない圧巻でした。100分間もアツという間でした。香山リカさんの「精神科医が語る平和・憲法・人権」の講演は優しい語り口で、共感を呼ぶ素晴らしい話でした。

「とても楽しかった」「憲法について考えさせられた」「こんなにも会場がいっぱいで驚いた」が参加者の共通した感想でした。

「安倍九条改憲」ストップ、国会発議許さないとの熱い思いが会場にあふれました。

チラシを8万枚作成し、各団体の機関紙折り込み、団地などの地域配布、駅頭配布。ポスターを500枚作成し地域や駅周辺の商店街に貼ってもらいました。チケットは1400枚普及（当日売りは123枚）しました。

「九条の会・あきしま」「市民連合@昭島」など各団体・地域のみなさんが九条改憲許さない一点で力を合わせて取り組みました。昭島と西多摩地域の9市町村の各団体・地域のみなさんが初めて「平和大好き市民アクション@東京25」と共同して取り組み、力を発揮しました。「憲法のつどい」のこの成功をさらに発展させ、市民と野党の共闘で、安倍政権退陣、そして必ず「九条改憲」をストップしましょう。（事務局長・角谷信行「九条の会・あきしまたより」第52号）

## スタンディング重ね41回

**【東京国分寺市／国分寺9条の会】** 3

月3日、雛祭り、耳（=33）の日、「アベ政治を許さない」のスタンディング。雨が本

降りになってきたが国分寺駅南口に出かけた。まだ誰も来ていない、と思ったら午後1時数分前ぼちぼちと集まって来てくれた。20人近くまで増えた！雨ニモマケズ！アベナンカニマケテナルモノカ！2015年11月3日から、毎月3日にこのスタンディングを始めてから、早いものでなんと41回目となってしまった。

それを上回るのが2012年から続く毎週金曜日脱原発デモ。飽きっぽい私が、この2つの行動に参加し続けているのは「原発もアベ政治も許せない」の一念に他ならない。数回で使い終わると期待した「アベ政治を許さない」の簡易ポスターは、長引く回数で破れかけている。破れてしまう前にアベ政治を破れるか。(西本町・木村民世「国分寺9条の会「輝け憲法九条」No172)

## 「青年は政治に無関心」ではない

【埼玉県草加市／九条の会・草加】3日(日曜日)、九条の会・草加14周年記念のつどいと総会が草加市勤労福祉会館で開催されました。総会では、3000万人署名運動と市民の共同の力が改憲の動きを押し留めていることが評価され、市民1人ひとりの力の大切さを再確認しました。

第2部ではまず、KAZUMI会with h b おれんじによるミニコンサート。「男はつらいよ」や「上を向いて歩こう」など懐かしい曲のオンパレードで大いに元気をもらいました。

講演は、今年27歳の諏訪原健さん。学生として政治的な活動に関わった経験のもとに、今の若者はばらばらの状態に見えるが、それぞれは実は政治に無関心ではなく、

「個」を尊重しながら「わたしたち」の問題であると訴えることが大切、と熱く語りました。(「九条の会・草加」第157号)

## 基地の街・横須賀を見学して

【東京小金井市／9条の会・こがねい】

2019年3月11日。ここは日本とアメリカの一体化が具体的に見られる場所です。嵐のなか、欠航を心配しましたが34人全員集合、途中から青空も見え始め、45分間のクルージングを無事に終えました。民間の大型遊覧船なので、安心の反面乗船者も様々、歓声や笑い声を聞きながらの見学なので、違和感が有り、これも現実なのだという思いでした。

安保法施行から3年、自衛隊の活動は専守防衛からどんどんかけ離れて広がっています。米艦防護の初任務を果たした海上自衛隊護衛艦「いずも」、ミサイル防衛任務につく米イージス艦に自衛隊の補給艦が給油したり、まさに行動拡大の進行形が横須賀と言えます。「いずも」はF35B戦闘機搭載する空母へ改修されようとしています。

横須賀はどこにでも見られる平穏な街に見えますが、アメリカが戦争を始めると、日本が巻き込まれる危険性があると思うと怖い。原発と同じく怖い原子力空母ロナルド・レーガンが停泊中、この日はまさに3・11なので、2時46分、全員で東北の方角に向き黙祷をしました。

米軍基地の陸の部分は見えませんでした。が、火力発電所・大型修理ドック・消防署・保育園・学校・住宅・ガソリンスタンド何でも揃っているそうです。

昼食後、下見をしていない観音崎

巡りをし、山登りみたいに歩かせてしまい、申し訳ありません。脚は大丈夫でしたか？ 社協のバス廃止により社協のバスでの旅は最後となりました。参加者の貴重なお話、美しい歌声ありがとうございました。（「9条の会・こがねいニュース」No159）

## 戦跡見学で9条の意義確認

### 【和歌山県／和歌山障害者・患者九条の会】

和歌山障害者・患者九条の会は、好天に恵まれた3月24日、27名が参加して、日高方面の戦跡をめぐるツアーを行いました。和歌山県の福祉バス利用は申し込みが多く抽選に当たるのが難しいのですが、今回はちょうど良いタイミングに恵まれました。

現地の戦跡の案内役に美浜町三宝寺の住職をされている湯川逸紀さんと平和委員会の小田憲さんをお願いしました。

最初に訪れたのは御坊市の日高別院。この寺には先の戦争で没収されて戦後戻ってきた釣鐘があります。戦時中、別院の釣鐘も武器をまかなうために供出され、瀬戸内海の島に集められたそうです。武器弾薬に使用可能かどうかの検査判定のために小さな孔が釣鐘の側面に5つほどあけられました。結果、使用不可の判定。終戦を迎え、戦後、釣鐘を引き取りに行ったとのこと。今もその孔を残しており、私たちは鐘楼に上がり実際に梯子をかけてもらって、その孔に触れる体験をしました。戦争は、平和を祈るはずの寺にまで強制力が及んだ歴史をうかがい知ることができます。

「ゴーン」と一人ずつその鐘を撞き、穏やかな鐘の音が春麗らかな空に響きました。

美浜町・煙樹ヶ浜に建つ記念碑は、32年、この浜で米軍を迎え撃つための大演習を4人の皇族が見学したことを記念しての碑だといいます。太平洋戦争もまだ始まらない時期、すでに本土決戦を予測していたのかと驚きました。本ノ脇の地下壕、入山のトーチカも案内していただきました。地下壕は山の斜面に掘られ、入口は狭いが奥に進むと背丈ほどの高さがあります。これらは45年6月頃に完成し、いずれも紀伊水道からの米軍上陸を阻むために作られた設備だそうです。多くの穴が海を見下ろす傾斜地に掘られ、兵隊が潜んでゲリラ戦を予定していたといわれます。実際に使われたことはなく、70年以上を経た今もなお、本土決戦を本気で想定していた歴史の事実を私たちに教えてくれています。新たな発見や学びの多い充実した一日を共有して帰路につきました。（会事務局・野尻誠「九条の会・わかやま」371）

## 女性が9条改憲に強く反対表明

### 【神奈川県相模原市／相模台・南台9条の会】

18年11月9日から11日まで開かれた第38回相模台公民館まつりに、「相模台・南台9条の会」は9日と10日の両日、展示部門に「安倍政権による憲法改竄への道」などを出品しました。また、「9条でつながる女性の会」の展示も加わりました。

女性の会が企画した「あなたは憲法9条を変えたいですか」というシール投票には、55人が参加しました。その結果は、「9条は変えない」が89%、「変えたい」は2%、「保留」は9%でした。（「相模台・南台9条の会ニュース」第62号）